

# 国保料を引き下げ、いのち優先の「国保行政」への転換を!!

## 政令市並みに国保会計への一般会計繰入を!

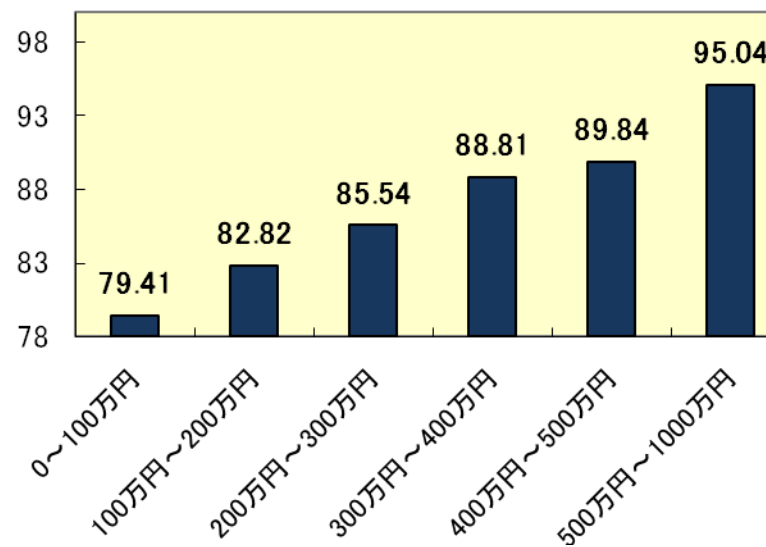
08年度一般会計・特別会計決算委員会では、日本共産党は、国保制度の改善、とりわけ市民負担の限界を超えた国保料の引き下げを求めました。熊本市の国保料は、県下一高く、九州県都の中でも一番高くなっています。そのため、収納率は低下し、累積赤字は、ついに08年度、80億円を突破しました。

日本共産党は、リストラ・失業などによる所得減少世帯や生活保護基準以下の低所得世帯の保険料減免を要望してきました。

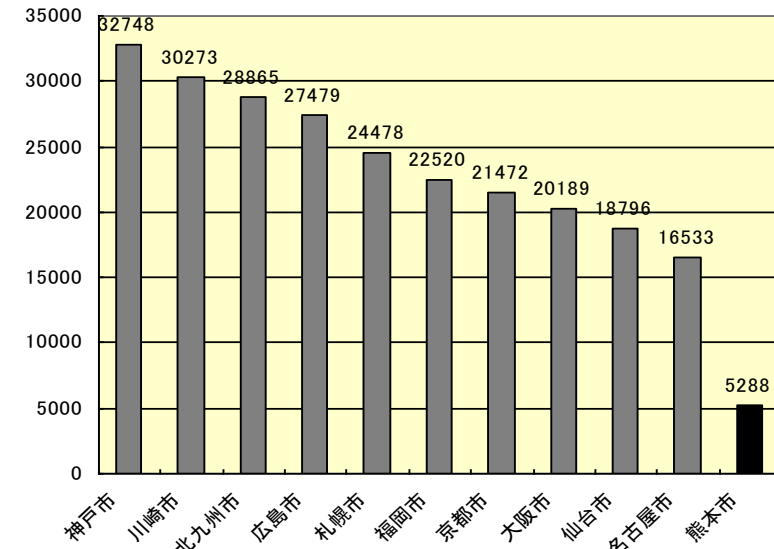
08年度から、低所得者減免制度(所得100万以下で3人以上世帯は保険料を1割減免)を実現しました。しかし、低所得者ほど収納率が低い状態は改善しておらず、更なる改善が必要です。(下表参照)

また、政令市並みに一般会計繰入を増やせば、値下げも可能です。

所得段階別の収納率



## 一人あたりの国保会計への赤字補てん額(政令市上位10市)



## 保険証は命に直結・未交付改善は急務!

日本共産党市議団には、保険料滞納による保険証未交付世帯からの深刻な相談が相次いでいます。

46歳の男性は、高血圧の治療ができず、脳出血を起こし、救急車で運ばれ、治療を受けました。しかし、6日後に死亡されました。

59歳の男性は、腹痛で、救急車で運ばれ、緊急手術を受けました。進行した大腸がんが見つかり、現在ICUで治療を受けています。

何れも、失業や仕事が激減し、収入減少による保険料滞納が背景にあります。「窓口に来なければ保険証は渡さない」熊本市のこんなやり方では、同じような犠牲者が増えるばかりではないでしょうか。

失った命は返ってはきません。国保制度は、社会保障制度であり、命に直結しています。国民保険証は全ての家庭に送付し、親身な納付相談を行うべきです。

### 日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO 680

2009年10月号外

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www.jcp-kumamoto.com/